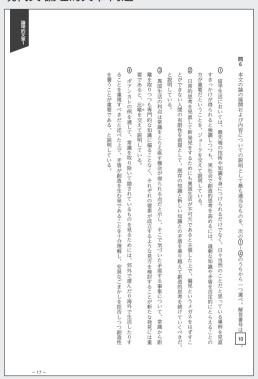
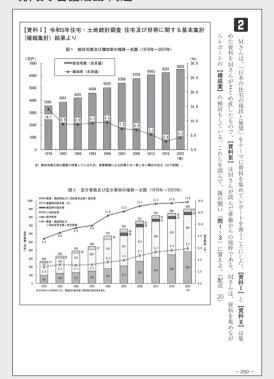
易しめから段階的に出題

前半では基本的な文章・4択の選択肢問題を中心に基礎力をつけ、 後半では複数テクスト・5択の選択肢問題など幅広い出題形式に慣れる

現代文 論理的文章 問題



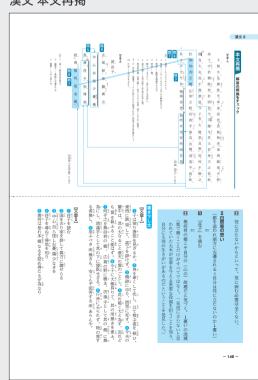
現代文 言語活動 問題



重要な箇所がわかる解答解説

本文再掲で文章や資料の関連を視覚的につかみ、選択肢チェックで正答・誤答のポイントを理解できる

漢文 本文再掲



古文選択肢 チェック

0 (1) 選択肢チェック よい。また、「件のいき尾は、きよき物に入れてふかく収めにけり」(ℓ8)とある いことをいう。「新た」と取り違えないように。 「あらたなる」(ℓ15) は形容動詞「あらたなり」の連体形で、 う、いかにかくは $\left(\begin{smallmatrix} \varrho & 10\end{smallmatrix}\right)$ とあるが、これは知足院が髪に触れた行為を受けての また「しるし」は徴候のようなものであり、「効験が表れ」とまではいえない。 「たのもしきしるし候ふなり」(ℓ7) とあるが、これは七日たってのことである。 ものなので、「望みが叶うことを伝えた」わけではない。 美しい女房の夢を見たのは、大権房ではなく知足院。女房の会話文に「さまあし 地の文に「初め行ふに、七日にしるしなし」(ℓ6) とあり、また大権房の会話に 知足院は大権房から呪法を学び、自らも行ったのだから「大切にし」たと考えて これまでに経験したことのない新しい効験が表れ、大権房は自賛した 望みが叶った知足院は、その後もこの呪法を大切にし、 大権房の夢の中に美しい女房が現れ、知足院の望みが叶うことを伝えた 七日に至る前にその効験が表れ、知足院の望みは見事に叶った 狐の尾も大事に扱っ 神仏の霊験が著し